

新潟民医連に加盟する法人・事業所の取り組みを紹介します。

2024年11月18日（月）

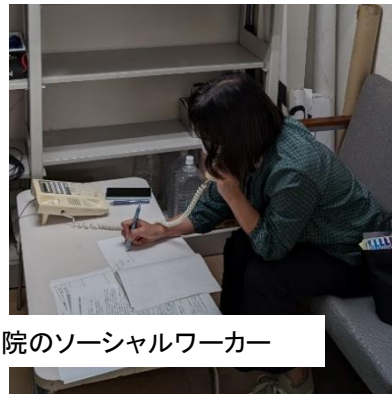
発行者：坂下 弘
宮野 大

「介護の日」行動

11月11日 なんでも無料電話相談（SW部会）

11月11日（月）、中央社保協からの要請に応じて2022年度から取り組んでいる「**介護・認知症なんでも無料電話相談**」を今年も開催して、県連SW部会より3名の皆さんからご参加いただき相談活動を行いました。午前中は相談が無かったのですが、昼過ぎにテレビで紹介されてからはひっきりなしに電話が鳴って対応しきれない程でした。**最終的には1日で8件の相談に乗ることができました。これは過去2年間（1日3件）と比べて倍以上の件数でした。**

相談内容は介護保険の申請の仕方からご家族の介護に関する悩み、疲れ、対処が難しい困難な問題まで多岐にわたり、どの相談にもSWの皆さんから丁寧にご対応いただきました。地域には介護の悩みを抱える方がこれだけ沢山いることを実感する機会となりました。ご対応いただいたSWの皆様、大変ありがとうございました。



相談に乗る下越病院のソーシャルワーカー

11月12日 スタンディング（介護職部会＋入舟G・介護部）

11月12日（火）、県連介護職部員と入舟G職員、介護部職員で、老健入舟前でスタンディングをしました。急遽、音出しもしようと、マイクスピーカーを準備し、参加した職員らが発言しました。30分間の取り組みで、11人が参加。人通りは少ないのですが、車の通りはそれなりにあり、アピールできました。

次回は、人通りのあるコンビニ前でやりたい、交差点で停車している車にアピールしたい等、次回につながる感想も出されました。



前を通る車道にアピールする参加者たち

停車中の新潟交通のバスの運転手さん

「先ほどは何をしていたのですか？」と。「毎回国が介護保険について1割負担を2割にしようとか、報酬を引き下げるとか悪い方に変えようとするので、やめてほしいと反対の声をあげています」と説明しました。そうしたら！

「それは良くない！皆さんの意見に私も賛成します！両親を介護し見送りました。大変でした。気持ちわかります」「ヘルパー事業所だって本当は増やさないといけないのにね」と言ってくれました！署名はしたことがないということだったので「また今度やります」と笑顔で言ってくれました！